

経営理念：利用者の『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標◆ じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ ゆたかな心（感性・情緒）◆ よき仲間（協調性・社会性）

かもしか3歳児クラスだより

2023年10月17日(火)

文責:立和田 みちる

10月も中旬にはいり、ようやく秋らしさが出てきた季節になってきました。また、朝夕の冷え込みもみられるようになり、この気温の変化で日中はまだ暑かったりして体調を崩すこともあります。子どもたちのお着替えにも、調節しやすいような服装の準備をよろしくお祈いします。



「全員で楽しんだ運動会」～成長の喜び～

かもしかに進級しての初めての運動会！子どもたちは、登園からお父さん、お母さんとスムーズに離れて応援席のほうに来てくれました。入場行進も元気よく、開会式も大きな声で歌ったり、体操したりしていました。かけっこではフライングもありましたがみんなが元気よくゴールが出来ました。野を超え山越えでは、ボールのキャッチを披露したり、長縄をくぐる場面、鉄棒では腕を使い両足を鉄棒まで上げる、マットでは両手をしっかりついて前転、上手に回れるようになりました。平均台は高さの違うのを二台置きましたが、練習では横歩きの子どもも当日は前を向き右左に足を置きながら進むことができました。ゴールした時の子どもたちの表情もとてもうれしそうでした。

親子競技での参加もありがとうございました。お父さん、お母さんと一緒に参加した後子どもたちもホッとしたのか、次の出番までの間に「先生、お腹すいた」「先生、眠い」といい始めました。「綱引き、玉入れがあるからあともう少し頑張ってね！」といいながら、最後の閉会式に臨んだ子どもたちでした。

4月から半年がたちますが、運動会の中でも「あとです」とありましたが自分の思いを一人一人が良く伝えるようになってきました。思いを伝えそれを私たちが受け止めながら様子を見て対応することで、今度は子どもたち同士で話をして解決したり助けたり優しさも出てきています。三つ子の魂百までとありますが、3歳ごろまでに人格は形成され、100歳までそれは変わらないといわれています。個人差はありますが一人一人の成長をこれからも保育の中で伸ばしながら、14名が一つになると運動会の競技のように力を発揮する子どもたちなので、残り半年どう成長するのか見守っててください。

(お祈い)

- ・衣替えの季節になってきました。午睡時の敷布団、毛布1枚、式パット、おねしょシート(必要な子)の準備をお願いします。また、掛布団は必要な時にいつでも持たせてください。また、毛布や式パットがあればバスタオルは必要ありません。
- ・週末、靴の持ち帰りをするため靴を入れる袋の準備をお願いします。
- ・お弁当の日は、靴、長そで、長ズボン、靴下の準備もお願いします。散歩先によっては長ズボンのよい時もありますので宜しくお祈い致します。



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵

解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峰 友里子 (099-474-1506) 山口 和美 (090-544-5866)